

令和元年南アルプス市議会第2回定例会（6月）

市長説明要旨（抜粋）

本定例会における議案の説明に先立ち、二期目の市政運営にあたり、所信の一端を申し上げます。

はじめに、市政運営の取り組み方針につきまして、ご説明いたします。

まず、1点目が、「子育て支援のさらなる推進」であります。

これまで、子ども医療費の窓口無料化を18歳まで拡大、保育料の第2子半額、第3子以降無料化の完全実施、加えて、小中学校の大規模改修や放課後児童クラブの整備充実に取り組んでまいりました。

二期目におきましても、病児保育施設の整備や、国の3歳以上の保育料無料化を受け、3歳未満児の保育料無料化への検討、小中一貫教育の推進と、将来に向けた子育て支援や教育環境の整備について、さらなる実現を目指したいと考えております。

2点目は、「健康・長寿のまちづくり」であります。

すべての市民が、より一層安心して暮らせる社会を実現することが、市政の最終目標であり、これからは、自助・共助・公助による、行政と市民との役割分担が必要とされています。

「健康・長寿のまちづくり」を実現するため、共助にあたる「地域で支えあい、助けあう包括ケアシステムの構築」、自助としては、各自の健康に対する意識向上を図るため、健康リーグの充実拡大を図ります。

加えて、医師会と連携し、糖尿病の重症化予防につなげ、健康寿命の延伸と、増大しつつある医療費の抑制を図ります。

3点目は、「南アルプスユネスコエコパーク事業の推進」であります。

本市が世界に誇る北岳を代表とした緑豊かな自然と、この地で育まれてきた歴史・文化を融合させ、本市の魅力を市内外に発信するとともに、市民の皆様がふるさとを知り、ふるさとを大切に思い、ふるさとを誇る、「郷土愛」を育ててまいります。

まず、ユネスコエコパークの理念に基づき、「人と自然との共生」を推進する拠点として緩衝地帯に位置する「エコパ伊奈ヶ湖」は、五感で体験できる「楽しみの学びエリア」として創出、活用してまいります。

本市の歴史、文化を次代に伝える拠点であります、ふるさと文化伝承館は、ふるさと〇〇博物館事業をはじめ、重要文化財「^{いもじや}鋳物師屋遺跡出土品」の展示や、

「御勅使川旧堤防」のガイダンス施設として、さらには地域の歴史や先人の知恵にふれることのできる「ふるさと教育」の場として、歴史文化の発信拠点施設となるよう、今後も展示内容の充実を図ってまいります。

4点目は、「豊かで活力あるまちづくり」であります。

この度、大手化粧品メーカーの「株式会社コーセー」が、八田地区内の工場用地を取得し、新たな生産拠点を建設すると発表されました。報道によりますと、創業規模は150億円から250億円で、従業員数は、300人から400人と見込まれており、本市にとりましても新たな雇用創出や地域経済の、より一層の活性化につながるものと、期待を寄せるところであります。

旧完熟農園跡地については、現在、新産業拠点と位置づけ、地権者の同意を取りまとめ、優良企業の誘致に向け、鋭意努力しているところであります。

最後の5点目は、「行財政改革のさらなる推進」についてであります。

現在、本市の財政状況は、県内13市の中で最も健全な状態であります。

しかし、今後は、老朽化する施設の増加や、社会保障費をはじめとする扶助費の増額など、多額の予算が必要となってまいります。

一方、少子高齢化に起因する人口減少により、税収の減少が既に始まっていることから、今後の財政状況は、さらに厳しさを増すことは間違いないところであります。

このため、自主財源確保のひとつとして、企業誘致を望む声も多くなっているなか、株式会社コーセーの進出、ファスフォードテクノロジー株式会社の増床や、富士電機株式会社山梨工場の新たな生産設備導入など、既存企業における拡張も含み、明るい兆しが見えてきております。

今後も、南アルプスインターチェンジ周辺への優良企業の誘致をはじめとして、自主財源の確保に努めてまいります。

また、歳出の抑制の面では、今年度は、令和7年度までの取り組み内容を明確にする、「第二次公共施設再配置アクションプラン」を策定し、継続して公共施設の再配置に取り組んでまいります。

さらに、現行の事務事業につきましては、無駄を省いた効率的な予算配分による歳出の削減、加えて、より一層の職員の資質向上と、適材適所への配置により、事務効率の向上を図ることで、経費の縮小にも努めてまいります。

続きまして、今年度予定しております主要事業の取り組みについてご説明いたします。

はじめに、広河原山荘新築工事についてであります。

本工事については、入札不調があったことから、積算単価や施工条件などの設計内容を見直し、本定例会に補正予算案を上程いたします。予算成立後は、速やかに建築業者の選定を行い、計画どおり令和 2 年度末での完成を目指すものであります。

次に、コミュニティバスについてであります。

市民や来訪者の大切な移動手段として運行しているコミュニティバスは、鉄道が無い本市にとって、極めて重要な公共交通機関であります。

平成 27 年 10 月の運行開始以来、市民の皆様からは運行路線や時間帯、本数などについて、様々なご意見、ご要望をいただき、毎年見直しを行った結果、運行当初は 2 万人の利用者でありましたが、今年度は 5 万人近くになる見込みであります。

今後も、利便性を高めるため、竜王駅と東花輪駅にアクセスする路線の増設も検討しているところであります。

次に、「第二次総合計画後期基本計画」の策定についてであります。

総合計画は、平成 27 年度から 10 年間のまちづくりの方針を示した市の最上位に位置する計画です。

今年度が、基本計画前期 5 年間の最終年にあたることから、これまでの 4 年間に取り組んできた施策等を検証し、その結果を踏まえつつ、時代に適した基本計画の策定に努めてまいります。

次に、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定についてであります。

人口減少社会を見据え、平成 27 年度に策定した「南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略」により、人口の流入促進と、流出抑制につなげる取り組みを進めております。

総合戦略の一環として、4 月 19 日に、東京都新宿区内において、山梨県での就職を希望する若者と、市内企業 16 社とのマッチングイベントを開催したところであります。今後も市内企業と連携し、就職促進を図るとともに、定住人口の増加につなげる取り組みを行ってまいります。

また、人口減少問題に、正面から取り組むため策定した総合戦略は、今年度、計画期間の最終年度となる 5 年目を迎えていますので、今年度策定する総合計画後期基本計画との整合性を保ち、新たな計画を取りまとめ積極的に戦略を展開してまいりたいと考えております。

次に、「第二次公共施設再配置アクションプラン」の策定についてであります。

平成 28 年度からの 30 年間を計画期間とした「南アルプス市公共施設等総合管理計画」を策定し、その実行計画として、平成 28 年度から 10 年間を計画期間とした「公共施設再配置アクションプラン」を策定しております。

アクションプランの中では、平成 28 年度からの 3 年間を集中取組期間に位置付け、庁舎整備事業を始め、八田・芦安・若草支所機能の移転、小中学校や、文化施設・社会教育施設等の大規模改修整備を進めてまいりました。

今年度は、この 3 年間の総括を踏まえ、公共施設白書を改定し、その後、第二次公共施設再配置アクションプランを策定してまいります。

次に、病児保育施設の整備についてであります。

本市では、これまで子育てと就労の両立を支援するため、病後児保育事業を実施し、加えて、県内全市町村での協定締結により、市外の病児・病後児保育事業の広域利用が可能となっております。

しかし、市内での病児保育事業の要望は根強く、より細やかな子育て支援として、今年 11 月からの開所を目指し、民間の医療機関とタイアップして、市内に病児保育専用施設を整備し、子育てと就労の両立が、更にしやすくなる環境を整えてまいります。

次に、市営住宅家賃補助事業についてであります。

現在、市営住宅のなかには、建築基準法の構造基準が強化された昭和 56 年以前に建築され、現行の耐震基準に適合していない住宅が多数あり、長寿命化計画における建替えや、用途廃止を検討しているところであります。

その一環として、旧耐震基準に該当する市営住宅の入居者に転居を促すため、住み替えを希望する入居者に対して、家賃補助の交付や移転補償費用を支給することで、入居者の転居を促す新たな制度を設け、実施する事業であります。

次に、教育大綱に基づく取り組みについてであります。

昨年度、本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根拠となる方針を定めた「第二次南アルプス市教育大綱」を策定いたしました。

その中のひとつとして、学校教育では、今年度から八田小学校と八田中学校、芦安小学校と芦安中学校とで、小中一貫教育校がスタートし、義務教育期間の 9 年間を通じた学習指導の継続性や、生活指導の一貫性を効果的に保つことが、可能となります。今後、二つの小中教育一貫校での成果と課題を分析し、将来的には、市内公立小中学校で、児童生徒のより良い育ちと学びを支えるため、小中一貫教育を推進してまいります。

また、児童生徒が、安全で健やかに成長できるよう、学校施設整備方針に基づき、老朽化等が進んでいる学校施設を計画的に整備いたします。

落合小学校については校舎大規模改造、小笠原小学校については屋内運動場床改修、楡形中学校については校舎屋上防水改修を実施してまいります。

また、近年の酷暑により、熱中症対策など児童への健康面や、学習環境への影響が懸念されることから、小学校のエアコン未設置教室にエアコンを設置し、引き続き、快適で安全・安心な学習環境の確保に努めてまいります。

本定例会に提出する案件は、条例案 11 件、予算案 4 件、市道路線に関する案 2 件、同意案 5 件、合わせて 22 件であります。

詳細につきましては、総務部長、総合政策部長から説明いたします。